

# 令和2年度 津山市立図書館協議会 会議録

日 時：令和2年8月20日（木）  
午後2時～3時15分  
会 場：津山市地域交流センター  
第8・第9教室

出席委員 佐藤委員長 田村副委員長 原田委員 安達委員 小椋委員 竹内委員  
国藤委員 赤坂委員 矢野委員 田淵委員 影山委員 山本委員 八木委員  
金崎委員  
欠席委員 岸本委員  
事務局 二宮部長 久松課長 大河原館長 金島副館長 菊入副館長

## 1. 開会

## 2. 部長挨拶

4月に機構改革があり、図書館は教育委員会から市長部局に所管替えとなり、地域振興部生涯学習課図書館として新たなスタートを切った。そんな中で新型コロナウイルスの全国的な拡大を受け、4月7日に緊急事態宣言があり、津山市立図書館は4月18日から5月24日まで臨時休館することとなり、利用している方には不便をかけることになった。現在でも新型コロナウイルス感染症は図書館の運営に強く影響を与えており、後ほど事務局から委員の皆様詳しく説明させていただく。

生涯学習の理念のもとに、多様な学習ニーズに応えられるような情報提供や学習拠点としての役割を果たすことができる図書館として尽力していきたい。委員からはそれぞれの立場で貴重なご意見をいただきたい。

本日は本館だけでなく、勝北、久米、加茂町図書館、自動車文庫の運営についても、ご議論いただきたい。

## 3. 委嘱状交付（省略）

## 4. 自己紹介（省略）

## 5. 議事

### (1) 図書館協議会役員選出について

委員長 佐藤委員 副委員長 田村委員

#### 委員長挨拶

新しく委員になった皆様、継続して委員をお願いする皆様にはよろしくお願ひしたい。先ほどから話にでていた新型コロナウイルス感染症についてだが、様々や制約や苦勞があると思うが、新たな生活習慣は大変だが受け入れていかなければならない。

図書館協議会は、図書館法第十四条によると「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。」となっている。

昨年度は図書館協議会として初めての主催行事である「ボクの私のみんなの図書館」

を実施した。それまでは図書館協議会は年に1度、今日のような形で集まるだけだったが、何らかの形で図書館の運営に寄与したいという思いがあった。

当日は約30名が参加し、図書館の運営について様々な意見を出してもらった。委員の方々には予算がないため、手弁当で集まってもらった。それを受け、3月14日に参加者提案型イベント「未来の図書館トライアルイベント」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止せざる終えなかった。

本年度もまた違う形で活動をしたいと考えており、後ほど(7)のその他のところで提案したいと考えている。ご協議をお願いしたい。

(ここからは委員長が司会)

(2) 令和2年度津山市立図書館及び視聴覚ライブラリーの利用状況について

(3) 令和2年度津山市立図書館主要事業について

(4) 図書館の新型コロナウイルスについて

事務局 ((2)～(4)を一括資料説明)

令和元年度の本館入館者が減少しているのは新型コロナウイルス感染拡大があり、図書館が3月からイベントを中止し、閲覧席を減らしたことや、津山市の人口が減少していることも影響していると考えられる。また平成30年から貸出冊数と利用者人数が増加しているのはその年の7月から統計の取りかたを変更し貸出延長した冊数と利用者を統計に導入したためである。登録、蔵書数は増えている。

自動車文庫の利用は児童数の減少もあり、減少傾向が続いている。加茂町図書館は横ばい、勝北と久米図書館は貸出冊数は増加している。

令和元年度の主な取組では、市民の生涯学習を支える取組として、図書館利用の活性化、図書館サービスの連携と協働の拡大、子どもの読書活動と調べる学習コンクールの参加者の拡大、地域課題の解決にむけた図書館サービスの充実、図書館収入の確保などに努めた。

特に令和元年度後半には図書館協議会主催による「ボクの私のみんなの図書館～未来の図書館はじめませんか?」を開催し、30名の参加があり図書館についての様々な意見を聞くことができた。それを受けて参加者提案型のイベント「未来の図書館トライアルイベント」を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止せざるを得なかった。また図書館電算システムのリプレースを行い、クラウド化、本館のセキュリティゲートの更新、ホームページのリニューアルを行った。

令和2年度の主な取組については①サテライト貸出システムカリコレの本格導入、②機構改革により図書館の所管が津山市教育委員会生涯学習部から津山市地域振興部生涯学習課に変更③令和3年度にむけて定住自立圏の図書館相互利用サービスの検討④オンラインでの行事⑤自動車文庫の巡回や団体貸出、調べる学習コンクールの開催などに取り組んでいる。

新型コロナウイルスの対応については令和2年3月から市の方針を受け、イベントの中止、閲覧席の減数、視聴覚資料の視聴中止、職員や利用者の手指の消毒、職員のマスクの着用などの対策を行った。4月18日から5月24日までは本館が臨時休館休館、地区館は5月25日まで休館した。開館後は定期的な換気や窓口のスクリ

ーンの設置、感染防止のための短時間利用を呼びかけている。

今後の対応としては本館に本の除菌BOXを4台設置、アクリル板のパーティションを本館・地区館に設置、換気用大型扇風機の設置を行う予定。

委員 図書館活用講座について教えてほしい

事務局 令和元年11月1日、30日、令和2年2月2日に開催した。先ほどから話に出ている「ボクの私のみんなの図書館」等がそれにあっている。

#### (5) 図書館の運営について

事務局 この項は、図書館の運営について皆様から気になっていることや希望などを自由にご発言いただければと考えております。

委員 今、図書館の展示コーナーを使って「三鬼と三郎」の展示をしているが、あれはすごく良いと思っている。ああいうスペースを使って、たとえば私が入っている会の作品を少し展示させてもらえないか。特別扱いをしていると思われぬよう一般市民も展示できるようにルール作りをしてはどうか。10数年前に私どもの会で1ヶ月くらい展示をしてもらったこともある。今はテレビの関係で俳句は人気があるが、その元になった短歌への関心をもっともらいたい。また図書館活用ができ、見に来る人も増えるのではないか。

事務局 図書館は現在貸しスペースとしての展示コーナーの使い方をしていない。図書館主催または行政各部局との共催で展示を行っている。新しいルール作りをして使ってもらおうという提案であるが、有料で貸出している展示ホールが図書館の隣にあり、公民館なども展示ができるので、悩ましいところ。

委員 関連したことだが、図書館を利用する人、しない人がいる。イベントも含めて図書館を利用するきっかけ作りになるのではないか。色んな団体が図書館を使い、また例えば俳句の展示の時に俳句の本を展示するなどすれば意義があるのではないか。

もう一つは学校図書館との連携で子ども読書と子育て支援に関してだが、図書館が中心となって子どもたちが本とふれあえるようにしていくことが重要ではないか。子どもは必ず親と一緒に来るので、図書館の利用を増やすことにもなるのでは。

事務局 子ども読書に関しては、「図書館を使った調べる学習コンクール」を学校と連携しながら開催している。また今年度から「つやまっ子読書プラン」の行事として教科書音読発表会などを開催していく予定になっている。

#### (6) 視聴覚ライブラリー担当委員の選出について

山本委員、八木委員、金崎委員を選出

#### (7) その他

委員長 挨拶で話したように、私から一つ提案したい。

昨年とは切り口が違うかもしれないが、コロナとの共存時代にも使ってもらえる図書館の体制づくりを推進することに協議会として尽力したい。具体的にはハード面、例えば空気清浄機を導入するなど、この状況下でも安心して利用できる図書館について協議会として意見をまとめ、市に提案していけたらと考えている。皆さんからご意見をいただきたい。

委員 昨年の図書館協議会で開催した行事の続きを今年はするものだと思っていた。新しく委員になった方は昨年のことを知らないなので、説明が必要なのではないか。

委員長 昨年の「ボクの私のみんなの図書館」の流れをくんで自主活動をしたいと考えているが、新型コロナが終息していない状況でもあり、昨年と同じ活動をするのは難しい。先ほども言ったように今年度は内容を変え図書館のコロナ対策についての提言ができたらと思っている。

委員 昨年の事業は一旦おいておくということか。

委員長 そうだ。今はできないけれども活動できるときになったら実施したい。

委員 なるほど。他の委員の皆さんも少しは理解ができたでしょうか。手弁当での参加ということになります。

委員 ちょっと聞きしたいのですが、昨年のイベントなどは年齢層でターゲットを絞って開催したのかどうか聞きたい。たとえば30代を増やしたいなど、低いところを伸ばすようなことはしたのか。

委員長 昨年のイベントは特に年齢層を絞ることはしておらず、全年齢層を対象に開催した。ただ、若い人の参加が多かったように思う。

委員 今は人が集まって交流することが難しくなっている。おそらく本来であればみんなで色々な意見を出しあえばいいのだと思う。

一つの意見だが、例えばテレビ津山や他の媒体を使って新刊情報を配信するなどしてはどうか。そういう情報を見て、短時間で借りてすぐ帰れるような利用の仕方をしてもらうようなことができればいいのではないか。

委員長 私の提案についてご賛同いただける方は賛成の方は挙手をお願いしたい。

(賛成多数)

委員長 それでは今年も自主事業をするということで進めさせていただく。よろしくをお願いします。他にご意見がありますか？

委員 駐車場の利用について聞きたい。大学生が勉強するのに、3時間くらいの利用券が欲しいという意見を聞いたことがある。図書館から駐車券は出せないか。

館長 図書館では図書館利用者に一律2時間の認証をしている。アルネ全体が2時間と決まっているため図書館単独で3時間というのは難しいと考えている。また図書館予算費用負担しているため、慎重な判断が必要。

委員 アルネが難しいようであれば、他に勉強する場所を確保できないか。

委員 大学生は自家用車で来る人もいるのか。

委員 来る人もいと聞いている。2時間だとやはり滞在するのに短いのでは。

委員 今はコロナ対策の関係で図書館の滞在時間が短くなっているのでは。

館長 濃厚接触をできるだけ減らそうという対策で、今は短時間でのご利用（30分以内）をお願いしているところ。30分過ぎたからといって帰って下さいとは言っていない。今はコロナ対策のため、どなたにも長く座って滞在してくださいとは言っていない。

## 6. その他

事務局より連絡事項（省略）

## 7. 閉会 田村副委員長